

第2回（仮称）市民協働推進センター検討に関する意見交換会報告

1 開催日時・場所

平成20年10月2日（木） 午後6時30分～8時30分 田無庁舎5階503会議室

2 参加者

12名

3 主な意見

センターには、行政の各部署とコーディネートを行い、地域を変えていく役割を期待したい。

公民館やボラセンなどと機能等が重複する部分は課題としてあるのではないかと。

仕事をリタイヤした人で、意欲のある人が地域の活動に参加できる仕組みが必要ではないかと。

総合計画に関する記述があるが、現在見直しを行っており、これを反映させた内容にすることが必要であると思う。

市民活動と協働との関係を明確にすることが重要であり、市民活動の活性化の延長線上で、協働の推進が行われるのではないかと。

西東京市では、市民参加条例の制定や市民活動団体との協働の基本方針など、協働の推進が図られてきたが、市民活動の活性化や担い手の育成は、その前提となるものだと思う。

運営主体の条件について、「公益法人」という表現は誤解を招くため、「民間非営利の公益法人」としてはどうか。

市民から納得を得られるセンターとするには、市民全体の多面的なニーズを取り上げ、地域の活性化や資源の活用につながるよう、横断的な役割を持たせることが必要ではないかと。

灯台のようなセンターであるといいと思う。多種多様な主体がお互いを尊重し、ともに手をつなぐことで、西東京市の新たな文化やまちづくりにつながっていくことを期待している。